

14時30分解禁

東北地方太平洋沖地震の被災地の皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興とご健康をお祈り申し上げます。

平成23年2月 全国百貨店売上高概況

平成23年3月25日

I. 概況

1. 売上高総額	4,332億円余
2. 前年同月比	0.7% (店舗数調整後/4か月ぶりプラス)
3. 調査対象百貨店	90社 258店 (平成23年1月対比-1店)
4. 総店舗面積	6,409,865㎡ (前年同月比:-3.0%)
5. 総従業員数	92,369人 (前年同月比:-4.9%)
6. 3か月移動平均値	7-9月 -3.1%、8-10月 -2.5%、9-11月 -1.6%、 10-12月 -0.6%、11-1月 -1.1%、12-2月 -0.8%

〔参考〕平成22年2月の売上高増減率は-5.4% (店舗数調整後)

【2月売上の特徴】

〔報道関係の皆様〕

現在、当協会では3月11日に発生した震災対策を最優先に会員企業との連絡体制をとっております。そのため2月分の全国及び東京地区の百貨店売上については、正確な動向分析が困難な状況となりました。

従いまして、今回の発表については数値データのみをお知らせし、概況コメントは省略させていただきます。

ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。

【要因】

- (1) 天候：気象庁発表「2月の天候」の特徴は以下のとおり（一部抜粋）
◇ 冬型の気圧配置が長続きせず、日本付近への寒気の流入は弱かった。特に北・東日本海側では顕著な少雪・多照だった。一方太平洋側では低気圧の影響で降水量が多かった。気温は北日本で高くその他は変動が大きかった。
- (2) 営業日数増減 27.7日（前年同月比±0.0日）
- (3) 土・日・祝日の合計 9日（〃 ±0日）
- (4) 入店客数増減（回答店舗数で見る傾向値/前年同月比）
①増加した：55店、②変化なし：39店、③減少した：39店、④不明：41店
- (5) 2月歳時記（バレンタインデー、節分、立春）の売上（同上）
①増加した：57店、②変化なし：43店、③減少した：11店、④不明：63店

全国百貨店 売上高速報 2011年02月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	433,256,734	100.0	0.7 (-0.7)
10都市	279,530,145	64.5	0.8 (0.1)
札幌	11,081,224	2.6	-0.1
仙台	5,622,609	1.3	2.8
東京	108,110,850	25.0	1.7 (1.0)
横浜	24,257,864	5.6	0.3 (-0.6)
名古屋	25,026,852	5.8	2.6 (-0.6)
京都	16,890,328	3.9	0.2 (-1.4)
大阪	54,384,550	12.6	-0.4
神戸	11,991,275	2.8	-0.5
広島	10,002,210	2.3	-0.4
福岡	12,162,383	2.8	-0.8
10都市以外の地区	153,726,589	35.5	0.4 (-2.2)
北海道	2,716,443	0.6	-1.4
東北	9,069,436	2.1	-2.1
関東	71,541,964	16.5	0.9 (-4.1)
中部	12,685,148	2.9	0.0
近畿	15,090,011	3.5	1.1
中国	10,976,986	2.5	1.4
四国	7,929,268	1.8	-0.4
九州	23,717,333	5.5	-0.2 (-1.6)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	433,256,734	100.0	0.7 (-0.7)
紳士服・洋品	25,861,816	6.0	-0.5 (-2.5)
婦人服・洋品	93,556,876	21.6	2.1 (0.0)
子供服・洋品	10,960,202	2.5	-3.5 (-4.7)
その他衣料品	11,386,470	2.6	-5.6 (-7.7)
衣 料 品	141,765,364	32.7	0.5 (-1.5)
身のまわり品	51,263,164	11.8	2.5 (0.6)
化粧品	24,258,120	5.6	0.6 (-0.5)
美術・宝飾・貴金属	18,318,801	4.2	-3.9 (-4.8)
その他雑貨	20,076,749	4.6	-3.8 (-4.0)
雑 貨	62,653,670	14.5	-2.2 (-2.9)
家 具	6,046,797	1.4	-0.2 (-0.9)
家 電	1,505,870	0.3	2.0 (1.8)
その他家庭用品	15,356,064	3.5	4.6 (3.0)
家 庭 用 品	22,908,731	5.3	3.2 (1.9)
生 鮮 食 品	24,679,740	5.7	-1.0 (-1.9)
菓 子	45,045,832	10.4	3.2 (2.5)
惣 菜	24,597,610	5.7	-1.1 (-1.7)
その他食料品	33,331,602	7.7	0.8 (-0.8)
食 料 品	127,654,784	29.5	0.9 (-0.1)
食 堂 喫 茶	12,353,895	2.9	-1.0 (-2.0)
サ ー ビ ス	4,846,067	1.1	-4.2 (-5.9)
そ の 他	9,811,059	2.3	9.0 (8.3)
商 品 券	18,867,749	4.4	25.8 (24.8)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|----------------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 0.8% (店舗数調整後／4か月ぶりプラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | 0.4% (〃 ／44か月ぶりプラス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	0.8	0.5	4か月ぶりプラス
札幌	-0.1	0.0	12か月連続マイナス
仙台	2.8	0.0	3か月ぶりプラス
東京	1.7	0.4	2か月連続プラス
横浜	0.3	0.0	2か月連続プラス
名古屋	2.6	0.1	2か月ぶりプラス
京都	0.2	0.0	4か月ぶりプラス
大阪	-0.4	0.0	7か月連続マイナス
神戸	-0.5	0.0	7か月連続マイナス
広島	-0.4	0.0	36か月連続マイナス
福岡	-0.8	0.0	31か月連続マイナス
10都市以外の地区	0.4	0.1	44か月ぶりプラス
北海道	-1.4	0.0	4か月連続マイナス*
東北	-2.1	0.0	35か月連続マイナス*
関東	0.9	0.1	44か月ぶりプラス
中部	0.0	0.0	35か月ぶりプラス
近畿	1.1	0.0	3か月ぶりプラス
中国	1.4	0.0	33か月ぶりプラス*
四国	-0.4	0.0	44か月連続マイナス
九州	-0.2	0.0	42か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、衣料品が4か月ぶり、身のまわり品が2か月ぶり、食料品が7か月ぶり、家庭用品が2か月連続のプラス。マイナスは雑貨。また、婦人服・洋品、菓子が3か月ぶり、化粧品、家電、その他食料品が2か月連続、その他家庭用品が5か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	0.7	—	4か月ぶりプラス
紳士服・洋品	－0.5	0.0	4か月連続マイナス
婦人服・洋品	2.1	0.4	3か月ぶりプラス
子供服・洋品	－3.5	－0.1	4か月連続マイナス
その他衣料品	－5.6	－0.2	36か月連続マイナス
衣料品	0.5	0.2	4か月ぶりプラス
身のまわり品	2.5	0.3	2か月ぶりプラス
化粧品	0.6	0.0	2か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	－3.9	－0.2	48か月連続マイナス*
その他雑貨	－3.8	－0.2	39か月連続マイナス*
雑貨	－2.2	－0.3	36か月連続マイナス
家具	－0.2	0.0	39か月連続マイナス
家電	2.0	0.0	2か月連続プラス
その他家庭用品	4.6	0.2	5か月連続プラス
家庭用品	3.2	0.2	2か月連続プラス
生鮮食品	－1.0	－0.1	4か月連続マイナス*
菓子	3.2	0.3	3か月ぶりプラス*
惣菜	－1.1	－0.1	4か月連続マイナス*
その他食料品	0.8	0.1	2か月連続プラス*
食料品	0.9	0.3	7か月ぶりプラス
食堂喫茶	－1.0	0.0	4か月連続マイナス
サービス	－4.2	0.0	3か月連続マイナス
その他	9.0	0.2	11か月連続プラス
商品券	25.8	0.9	2か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成23年2月 東京地区百貨店売上高概況

平成23年3月25日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,081億円余
2. 前年同月比	1.7% (店舗数調整後/2か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭1.3%(85.5%)：非店頭4.2%(14.5%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	14社 26店 (平成23年1月対比±0店)
5. 総店舗面積	929,474㎡ (前年同月比：-1.8%)
6. 総従業員数	20,492人 (前年同月比：1.1%)
7. 3か月移動平均値	7-9月 -2.9%、8-10月 -1.3%、9-11月 -0.2%、 10-12月 0.8%、11-1月 0.4%、12-2月 0.8%

[参考] 平成22年2月の売上高増減率は-6.5% (店舗数調整後)

【2月売上の特徴】

〔報道関係の皆様〕

現在、当協会では3月11日に発生した震災対策を最優先に会員企業との連絡体制をとっております。そのため2月分の全国及び東京地区の百貨店売上については、正確な動向分析が困難な状況となりました。

従いまして、今回の発表については数値データのみをお知らせし、概況コメントは省略させていただきます。

ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 27.9日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した：7店、②変化なし：4店、③減少した：8店、④不明：2店
- (3) 2月歳時記 (バレンタインデー、節分、立春) の売上 (同上)
 - ①増加した：10店、②変化なし：4店、③減少した：1店、④不明：6店

東京地区百貨店 売上高速報 2011年02月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	108,110,850	100.0	1.7 (1.0)
紳士服・洋品	7,106,402	6.6	2.4 (2.2)
婦人服・洋品	20,733,398	19.2	2.5 (0.9)
子供服・洋品	2,668,254	2.5	-1.2 (-1.2)
その他衣料品	2,460,310	2.3	-6.4
衣 料 品	32,968,364	30.5	1.5 (0.4)
身のまわり品	13,851,465	12.8	0.8 (-0.4)
化粧品	5,858,320	5.4	1.9 (-0.6)
美術・宝飾・貴金属	5,238,164	4.8	1.4 (1.4)
その他雑貨	6,566,547	6.1	-0.6 (-0.7)
雑 貨	17,663,031	16.3	0.8 (-0.1)
家 具	2,020,849	1.9	6.2 (6.0)
家 電	752,464	0.7	30.1
その他家庭用品	4,437,307	4.1	9.9
家 庭 用 品	7,210,620	6.7	10.6 (10.5)
生 鮮 食 品	4,025,432	3.7	-1.2
菓 子	9,597,288	8.9	2.4
惣 菜	5,312,183	4.9	-2.6
その他食料品	8,792,132	8.1	-0.7 (-0.9)
食 料 品	27,727,035	25.6	-0.1 (-0.2)
食 堂 喫 茶	2,792,331	2.6	-2.5 (-3.1)
サ ー ビ ス	2,012,833	1.9	0.5 (-2.8)
そ の 他	3,885,171	3.6	13.5 (13.5)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

		※
商 品 券	10,039,569 千円	81.8 (81.0)
従 業 員 数	20,492 人	1.1
店 舗 面 積	929,474 m ²	-1.8

営 業 日 数	27.9 日	前 年	27.9 日
---------	--------	-----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、衣料品が4か月ぶり、身のまわり品が3か月連続、雑貨が2か月連続、家庭用品が6か月連続のプラス。マイナスは食料品が-0.1%の微減となった。また、紳士服・洋品が5か月連続、化粧品と家電が2か月連続、その他家庭用品が8か月連続、婦人服・洋品と菓子 が3か月ぶり、美術・宝飾・貴金属が2か月ぶり、家具が4か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	1.7	—	2か月連続プラス
紳士服・洋品	2.4	0.2	5か月連続プラス
婦人服・洋品	2.5	0.5	3か月ぶりプラス
子供服・洋品	-1.2	0.0	2か月連続マイナス
その他衣料品	-6.4	-0.2	34か月連続マイナス
衣料品	1.5	0.4	4か月ぶりプラス
身のまわり品	0.8	0.1	3か月連続プラス
化粧品	1.9	0.1	2か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	1.4	0.1	2か月ぶりプラス*
その他雑貨	-0.6	0.0	33か月連続マイナス*
雑貨	0.8	0.1	2か月連続プラス
家具	6.2	0.1	4か月ぶりプラス
家電	30.1	0.2	2か月連続プラス
その他家庭用品	9.9	0.4	8か月連続プラス
家庭用品	10.6	0.7	6か月連続プラス
生鮮食品	-1.2	0.0	3か月連続マイナス*
菓子	2.4	0.2	3か月ぶりプラス*
惣菜	-2.6	-0.1	4か月連続マイナス*
その他食料品	-0.7	-0.1	3か月ぶりマイナス*
食料品	-0.1	0.0	2か月ぶりマイナス
食堂喫茶	-2.5	-0.1	4か月連続マイナス
サービス	0.5	0.0	11か月連続プラス
その他	13.5	0.4	11か月連続プラス
商品券	81.8	4.2	19か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>